

# ひとり親施策及び生活困窮者施策における学習支援の連携事例について(桑名市)

## ◆事業のポイント◆

- 複合的な課題を抱えるひとり親家庭を、自立相談支援機関へ円滑に繋げることが可能
- 学習支援ボランティアの奪い合いにもならない
- 子どもが安心して自分の存在を認められる居場所を確保できる

## 一体的に事業を実施するにあたって工夫していること

- ◇ボランティアの確保や居場所としての雰囲気づくり
  - 継続的なボランティア支援員とのマッチング。
  - ボランティア支援員と生徒の相性を大切にしている。
  - 自分の存在を認められる居場所としての雰囲気作り。

	生活困窮・生活保護	ひとり親	
事業名称	学びサポート		
対象者	ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護世帯		
実施方式(委託先)	【委託】桑名市社会福祉協議会		
対象年齢	小学生、中学生		
支援員	大学生、ボランティア、教員経験者 等		
利用する際の申請先	桑名市役所内「相談支援室」		
実施場所	公民館等公共施設		
実施日・時間	平日 15時～21時 ※複数教室ある場合は代表的なもの		
事業実績	H29延べ利用者数	109人	463人
	H30予算額	5,283千円	

## 一体的に事業を実施することによる効果

- ◇効率的・効果的な支援の実施
  - 申請・受付が窓口が1つとなって利用者として迷うことがない。
- ◇ひとり親家庭や生活困窮世帯の子ども共通の課題への対応
  - ひとり親世帯と困窮世帯とは少なからず関係があると考えられ、ケースをとおし広く見ることができ、生活全体の相談に入って行きやすい。

## 具体的な取組内容

- 桑名市では、平成27年度より、子どもの学習支援事業とひとり親家庭への学習支援事業を一体実施(市社協へ委託)。生活保護世帯、生活困窮世帯(福祉事務所長が認める者)のほか、ひとり親世帯の子どもも学習支援事業の支援対象。
- 子ども(支援対象者)とボランティア(支援者)の間に「学習支援コーディネーター」を配置。日時・場所(自宅含む)・教科等をマッチングし、個別訪問型の支援を実施。併せて、学習支援コーディネーターが家庭と繋がり、家庭全体を支援する方法をとっている。

## 連携イメージ

